

令和 8 年度 東部クリーンセンターの放射性物質濃度等の測定結果

◆ 敷地境界における空間放射線量（単位： μ S_v /時）^{マイクロシーベルト}

S_v （シーベルト）：人が受ける被ばく線量の単位（人が受ける放射線の量を表す）

μ （マイクロ）： 10^{-6} （100 万分の 1）

実施回	測定日	東側	西側	南側	北側	バック グラウンド
第 1 回目	令和 8 年 4 月 15 日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05
第 2 回目	令和 8 年 5 月 20 日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05
第 3 回目	令和 8 年 6 月 17 日	0.06	0.05	0.05	0.04	0.05
第 4 回目	令和 8 年 7 月 15 日	0.06	0.05	0.05	0.04	0.05
第 5 回目	令和 8 年 8 月 19 日	0.05	0.04	0.05	0.04	0.04
第 6 回目	令和 8 年 9 月 16 日	0.05	0.05	0.06	0.04	0.06
第 7 回目						
第 8 回目						
第 9 回目						
第 10 回目						
第 11 回目						
第 12 回目						

※ 1 か月に 1 回の頻度で測定を実施。

※ 地表面から約 1m の高さで測定を実施。

■ 焼却灰等の放射性物質ごとの濃度（単位：Bq^{ベクレル}／kg）

Bq（ベクレル）：放射能の量を表す単位（放射線が出ている量を表す）

実施回 ^{※1}	採取日	検体	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性 セシウム の合計
第1回目	令和8年6月11日	焼却残渣 焼却灰 ^{※2}	不検出	13	13
		焼却残渣 飛灰 ^{※3}	不検出	62	62
第2回目	令和8年11月予定	焼却残渣 焼却灰 ^{※2}			
		焼却残渣 飛灰 ^{※3}			

※1 資源化先である地元の自治体等の要請に応じた頻度で測定を実施。

※2 焼却残渣 焼却灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

※3 焼却残渣 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。